

クラス番号	904	ゼミタイプ	サービスラーニング型（コミュニティ）
		担当教員名	都築 頼子
テーマ	地域に出て“ふくし”（『ふ』だんの、『く』らしの、『し』あわせ）とは、何かを見つけよう		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

このゼミでは、次のような目的・目標をもって1年間取り組んでいきたいと考えています。

- ① 主にNPO法人ひだまりでの活動を通し、住民目線（自分ごととして）で地域の課題に気づき、考える。
- ② 活動を通して気づいたことを、互いに伝え合い協働しながら課題に取り組むことを学ぶ。
- ③ 人格的にも社会的にも基本となるマナー（あいさつや時間を守るなど）を身につける。

授業計画：

<前期>

- (1) 行政が目指す地域福祉について理解する。
 - (2) 高齢者・障がい者・認知症について理解する。
 - (3) 地域活動の現状を知り、課題の抽出をする。
 - (4) 課題に対して、自分たちが始められる地域活動を考え企画する。
- (3)(4)については、活動先について調べ、考える

<後期>

- (1) 活動のふりかえり、報告会に向けての資料作り。
- (2) 報告会において各グループの活動の情報の共有並びに課題の分析をおこなう。
- (3) 活動をしてみて個々に興味や疑問、関心をもったことに対して研究をすすめる。
- (4) 次学年での学習の課題を抽出する。

担当教員からのメッセージ

ここ数年、日本各地で「今までに経験のない」ような大きな災害が次々に発生したり、少子高齢化、貧困問題など課題が多様化しています。行政の取り組みだけに頼らず、住民側から始められる『はじめの一步』って、何があるんだろう？を一緒に学んでいきましょう。

この時期に現場を体験することで卒業後の自分を考える参考になるのではないのでしょうか。